

12月1日(木) 第1会場(コラッセふくしま 4階 多目的ホール)

8:45~9:49 一般演題1「集学的治療のための基礎研究」

座長：和田 聡 (昭和大学 臨床薬理研究所 臨床腫瘍診断学部門)
吉本 由哉 (福島県立医科大学医学部 放射線腫瘍学講座)

- O1-1 HER2 陽性胃癌における cGAS-STING 経路の役割70
深井 智司、中嶋 正太郎、片方 雅紀、佐久間 芽衣、佐藤 孝洋、岡山 洋和、齋藤 元伸、三村 耕作、河野 浩二
福島県立医科大学 消化管外科学講座
- O1-2 C4orf47 は膀胱癌において低酸素環境での休眠に関与する70
長尾 晋次郎¹⁾、大西 秀哉¹⁾、坂梨 深太¹⁾、森崎 晋史¹⁾、岩本 直也¹⁾、那 琳¹⁾、佐藤 優²⁾、益田 昌吾¹⁾、
今泉 晃¹⁾、中村 雅史²⁾
¹⁾九州大学大学院 医学研究院 先端医療医学部門 腫瘍制御学分野
²⁾九州大学大学院 臨床・腫瘍外科
- O1-3 ARID1A 欠損胃癌に対する AKT 阻害薬の有効性71
佐藤 孝洋、齋藤 元伸、片方 雅紀、深井 智司、岡山 洋和、中嶋 正太郎、三村 耕作、河野 浩二
福島県立医科大学 消化管外科学講座
- O1-4 消化器癌・肺癌の包括的な治療開発のための FAM115C の生物学的意義の網羅的解析71
坂梨 深太、大西 秀哉、岩本 直也、森崎 晋史、長尾 晋次郎、那 琳、益田 昌吾
九州大学大学院 医学研究院 先端医療医学部門 腫瘍制御学分野
- O1-5 In vitro 腹膜播種転移モデルを用いたマルチオミクス解析による大腸癌転移機構の解明と制御法の開発72
森 治樹^{1,2)}、磯村 久徳¹⁾、周 爽¹⁾、梶野 泰祐¹⁾、阿部 雄一¹⁾、夏目 誠治³⁾、木下 敬史³⁾、大内 晶³⁾、三宅 亨²⁾、
細田 和貴⁴⁾、小森 康司³⁾、清水 泰博³⁾、谷 眞至²⁾、田口 歩^{1,5)}
¹⁾愛知県がんセンター 分子診断トランスレーショナルリサーチ分野
²⁾滋賀医科大学 外科学講座 消化器・乳腺・小児・一般外科
³⁾愛知県がんセンター 消化器外科部
⁴⁾愛知県がんセンター 遺伝子病理診断部
⁵⁾名古屋大学大学院医学系研究科 先端がん診断学分野
- O1-6 In vivo エレクトロポレーションを用いたマウス膠芽腫モデルの構築72
大西 伸幸¹⁾、家口 勝昭¹⁾、高柳 大輔^{1,2)}、渡邊 真^{1,3)}、五嶋 翼^{1,2)}、大熊 遼太郎²⁾、鈴木 梨沙子²⁾、角田 卓也²⁾、
和田 聡^{1,2)}
¹⁾昭和大学臨床薬理研究所臨床腫瘍診断学部門
²⁾昭和大学医学部内科学講座腫瘍内科学部門
³⁾昭和大学薬理科学センター
- O1-7 大腸癌における癌促進的にはたらく炎症関連 miR-4257 の役割73
片岡 智史、小西 博貴、有田 智洋、柴田 梨恵、山本 大雅、古家 裕貴、芝本 純、多加喜 航、山本 有祐、
清水 浩紀、塩崎 敦、栗生 宜明、大辻 英吾
京都府立医科大学 消化器外科
- O1-8 大腸がんにおける腸内細菌叢と腫瘍浸潤免疫細胞の関連73
菊池 智宏、三村 耕作、松石 彬、鈴木 博也、丸山 裕也、佐久間 芽衣、圓谷 秀哲、深井 智司、金田 晃尚、
氏家 大輔、千田 峻、楡井 東、多田 武志、花山 寛之、小野澤 寿志、岡山 洋和、坂本 渉、佐瀬 善一郎、
門馬 智之、河野 浩二
福島県立医科大学 消化管外科学講座

9:55~11:55 シンポジウム 1 「ICI 治療に対する Translational Research 最前線」

座長：玉田 耕治（山口大学大学院医学系研究科）
吉村 清（昭和大学 臨床薬理研究所 臨床免疫腫瘍学部門）

- S1-1 ICI 治療効果に着目した免疫制御機構の解明37
杉山 大介
名古屋大学大学院医学系研究科 分子細胞免疫学
- S1-2 複合がん免疫療法の最適化にむけて38
北野 滋久
がん研究会 有明病院 先端医療開発科/がん免疫治療開発部
- S1-3 腫瘍微小環境のクローン進展39
富樫 庸介、長崎 譲慈
岡山大学学術研究院医歯薬学域 腫瘍微小環境学分野
- S1-4 CAR-T 細胞療法の最前線：課題と将来展望40
玉田 耕治
山口大学大学院医学系研究科
- S1-5 樹状細胞における protein tyrosine phosphatase non-receptor type 3 (PTPN3) 抑制により生じる抗腫瘍免疫への効果とその機序の考察41
岩本 直也¹⁾、大西 秀哉¹⁾、坂梨 溪太¹⁾、森崎 晋史¹⁾、長尾 晋次郎¹⁾、益田 昌吾¹⁾、那 琳¹⁾、梅林 雅代²⁾、森崎 隆²⁾、中村 雅史³⁾
¹⁾九州大学大学院 医学研究院 先端医療医学部門 腫瘍制御学分野
²⁾福岡がん総合クリニック
³⁾九州大学大学院 臨床・腫瘍外科
- S1-6 大腸癌における腫瘍細胞内 cGAS-STING 経路を標的とした新規治療戦略42
中嶋 正太郎^{1,2)}、金田 晃尚²⁾、岡山 洋和²⁾、松本 拓朗²⁾、菊池 智宏²⁾、遠藤 英成²⁾、伊藤 美郷²⁾、三村 耕作^{2,3)}、菅家 康之²⁾、齋藤 元伸²⁾、佐藤 孝洋²⁾、片方 雅紀²⁾、藤田 正太郎²⁾、坂本 渉²⁾、小野澤 寿志²⁾、佐瀬 善一郎²⁾、門馬 智之²⁾、河野 浩二^{1,2)}
¹⁾福島県立医科大学 医学部 癌集学的治療地域支援講座
²⁾福島県立医科大学 医学部 消化管外科学講座
³⁾福島県立医科大学 医学部 輸血・移植免疫学講座

12:00~12:45 ランチョンセミナー 1

座長：室 圭（愛知県がんセンター 薬物療法部）

- LS1 胃癌の分子生物学的プロファイルから考える一次治療戦略107
川上 尚人
近畿大学医学部 内科学腫瘍内科部門

共催：小野薬品工業株式会社/ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

12:45~13:45 シンポジウム 2 「消化器癌における ICI 最前線」

座長：永野 浩昭（山口大学大学院 消化器・腫瘍外科学）
田中 浩明（大阪公立大学大学院 消化器外科学）

- S2-1 食道がんにおける免疫チェックポイント阻害剤の進歩43
加藤 健
国立がん研究センター中央病院 頭頸部・食道内科
- S2-2 胃癌治療における ICI の位置づけと今後の展開44
室 圭
愛知県がんセンター 薬物療法部

S2-3	免疫抑制環境を誘導するゲムシタピン耐性膵癌に対する新たな複合免疫療法の開発45
	田澤 大 ^{1,2)} 、梶原 義典 ¹⁾ 、菊地 寛次 ¹⁾ 、黒田 新士 ¹⁾ 、野間 和広 ¹⁾ 、浦田 泰生 ³⁾ 、香川 俊輔 ¹⁾ 、藤原 俊義 ¹⁾
	¹⁾ 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器外科学
	²⁾ 岡山大学病院 新医療研究開発センター
	³⁾ オンコリスバイオファーマ

14:25～14:45 会長講演、理事長講演

座長：山口 佳之（川崎医科大学 臨床腫瘍学）

会長講演、	5年後のがん免疫療法とバイオセラピー学会32
理事長講演	河野 浩二 ^{1,2,3)}
	¹⁾ 日本バイオセラピー学会理事長
	²⁾ 第35回日本バイオセラピー学会学術集会総会会長
	³⁾ 福島県立医科大学 消化管外科学講座

14:50～17:00 シンポジウム 3 「ICI 治療の Next Step」

座長：山上 裕機（和歌山県立医科大学 探索的がん免疫学講座）

北野 滋久（がん研究会 有明病院 先端医療開発科/がん免疫治療開発部）

S3-1	Improving ACT therapy through combination with a DC tumor vaccine and protecting NK cells and T cells against oxidative stress46
基調講演	Rolf Kiessling、Stina Wickström
	Department of Oncology-Pathology, Karolinska Institutet, Stockholm, Sweden
S3-2	上部消化管癌における抗 PD-1 療法と局所放射線療法を用いた複合がん免疫療法の開発47
	三村 耕作 ^{1,2)} 、中嶋 正太郎 ¹⁾ 、金田 晃尚 ¹⁾ 、楡井 東 ¹⁾ 、菊池 智宏 ¹⁾ 、多田 武志 ¹⁾ 、花山 寛之 ¹⁾ 、渡辺 洋平 ¹⁾ 、佐瀬 善一郎 ¹⁾ 、河野 浩二 ¹⁾
	¹⁾ 福島県立医科大学 医学部 消化管外科学講座
	²⁾ 福島県立医科大学 医学部 輸血・移植免疫学講座
S3-3	ICI によるカンガルーテール現象—なぜがん免疫療法のみ起きるのか？ どうすればテールを上げることができるのか？—48
	角田 卓也
	昭和大学 医学部 内科学講座 腫瘍内科部門
S3-4	テロメラーゼ特異的腫瘍融解ウイルス製剤の創薬研究：がん免疫療法との協働49
	藤原 俊義 ¹⁾ 、黒田 新士 ¹⁾ 、田辺 俊介 ¹⁾ 、田澤 大 ²⁾
	¹⁾ 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器外科学
	²⁾ 岡山大学病院 新医療研究開発センター
S3-5	AI イメージサイトメトリーを用いた直腸癌術前化学放射線療法の腫瘍 CD8+T 細胞の新たな評価法の開発50
	山下 公大 ¹⁾ 、長坂 暢 ²⁾ 、阿河 杏介 ¹⁾ 、阿部 智喜 ¹⁾ 、高村 史記 ³⁾ 、澤田 隆一郎 ¹⁾ 、長谷川 寛 ¹⁾ 、金治 新悟 ¹⁾ 、松田 武 ¹⁾ 、押切 太郎 ¹⁾ 、掛地 吉弘 ¹⁾
	¹⁾ 神戸大学大学院医学研究科 外科学講座 食道胃腸外科学分野
	²⁾ AIキュレーション協会
	³⁾ 近畿大学 免疫学
S3-6	Hepatic steatosis の胃癌 ICI 治療へ与える影響—悪液質との関係から—51
	早野 康一、松本 泰典、藏田 能裕、大塚 亮太、豊住 武司、中野 明、村上 健太郎、上里 昌也、松原 久裕
	千葉大学 医学部 先端応用外科

- S3-7 免疫チェックポイント阻害剤の治療限界を克服しうる新規がんペプチドワクチンによる腫瘍免疫原性の向上52
- 中島 正夫¹⁾、恒富 亮一¹⁾、徳光 幸生¹⁾、新藤 芳太郎¹⁾、松井 洋人¹⁾、中上 裕有樹²⁾、玉田 耕治³⁾、宇高 恵子⁴⁾、坂元 亨宇⁵⁾、齋藤 彰⁶⁾、渡邊 裕策¹⁾、友近 忍¹⁾、吉田 晋¹⁾、飯田 通久¹⁾、鈴木 伸明¹⁾、武田 茂¹⁾、井岡 達也⁷⁾、裕 彰一⁸⁾、永野 浩昭¹⁾
- ¹⁾山口大学 大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学講座
²⁾下関市立大学 データサイエンス学部
³⁾山口大学医学部 免疫学講座
⁴⁾高知大学医学部 免疫学講座
⁵⁾慶應義塾大学医学部 病理学講座
⁶⁾東京医科大学 分子病理学分野
⁷⁾山口大学病院 腫瘍センター
⁸⁾周南記念病院 外科

17:05～17:50 ワークショップ 4「免疫細胞療法」

座長：柴田 昌彦（福島県立医科大学 地域包括的癌診療研究講座）
 大西 秀哉（九州大学大学院医学研究院 腫瘍制御学分野）

- WS4-1 腫瘍 mRNA 遺伝子導入 iPS 細胞由来樹状細胞は腫瘍ネオアンチゲンを認識する68
 尾島 敏康、岩本 博光、北谷 純也、丸岡 慎平、富永 信太、山上 裕機、川井 学
 和歌山県立医科大学 第2外科
- WS4-2 p53 を抗原とする樹状細胞ワクチンによる前感作は p53 武装化ウイルス免疫療法の治療効果を増強する68
 山田 元彦¹⁾、田澤 大^{1,2)}、陶守 貫人¹⁾、菊地 寛次¹⁾、黒田 新士¹⁾、野間 和広¹⁾、浦田 泰生³⁾、香川 俊輔³⁾、藤原 俊義¹⁾
¹⁾岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 消化器外科学
²⁾岡山大学病院新医療研究開発センター
³⁾オンコリスバイオファーマ（株）
- WS4-3 Shared ネオアンチゲンと特異的 T 細胞受容体のスクリーニング69
 清谷 一馬¹⁾、中村 祐輔^{1,2)}
¹⁾公益財団法人がん研究会 がんプレジジョン医療研究センター 免疫ゲノム解析グループ
²⁾国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所

12月1日（木） 第2会場（コラッセふくしま 3階 企画展示室）

8:45～9:30 ワークショップ 1「複合免疫療法の工夫」

座長：鈴木 義行（福島県立医科大学医学部 放射線腫瘍学講座）
 有賀 淳（東京女子医科大学 先端生命医学研究所）

- WS1-1 放射線治療による腫瘍細胞内 cGAS-STING 経路を介した食道扁平上皮癌微小環境リモデリング機構の解明62
 中嶋 正太郎^{1,2)}、三村 耕作^{2,3)}、金田 晃尚²⁾、佐藤 孝洋²⁾、片方 雅紀²⁾、岡山 洋和²⁾、齋藤 元伸²⁾、坂本 渉²⁾、楡井 東²⁾、菊池 智宏²⁾、多田 武志²⁾、花山 寛之²⁾、渡辺 洋平²⁾、佐瀬 善一郎²⁾、門馬 智之²⁾、河野 浩二^{1,2)}
¹⁾福島県立医科大学医学部癌集学的治療地域支援講座
²⁾福島県立医科大学医学部消化管外科学講座
³⁾福島県立医科大学医学部輸血・移植免疫学講座
- WS1-2 放射線治療における腫瘍内 CD8+ T 細胞の動態62
 向山 知佑、山下 公大、阿部 智喜、安藤 正恭、阿河 杏介、山田 康太、原田 仁、裏川 直樹、後藤 裕信、長谷川 寛、金治 新悟、松田 武、押切 太郎、掛地 吉弘
 神戸大学医学部附属病院 食道胃腸外科
- WS1-3 キチンオリゴ糖服用による抗癌免疫作用の臨床研究と作用機序の考察63
 韓 啓司
 医療法人社団大同会恵クリニック

9:35~10:23 一般演題 2 「免疫療法のための基礎研究 (1)」

座長：北村 寛 (富山大学学術研究部 医学系 腎泌尿器科学)
勝田 将裕 (勝田胃腸内科外科医院)

- O2-1 ユビキチンプロテアソーム系を応用した新規 iPS 細胞由来樹状細胞ワクチン療法の基礎研究.....74
富永 信太、尾島 敏康、宮澤 基樹、岩本 博光、北谷 純也、丸岡 慎平、山上 裕機、川井 学
和歌山県立医科大学 外科学第2講座
- O2-2 Eph/ephrin システムを介した PD-L1 の発現調節機構.....74
家口 勝昭¹⁾、大西 伸幸¹⁾、五嶋 翼²⁾、大熊 遼太郎²⁾、鈴木 梨沙子²⁾、角田 卓也²⁾、和田 聡^{1,2)}
¹⁾昭和大学臨床薬理研究所 臨床腫瘍診断学部門
²⁾昭和大学 医学部 内科学講座 腫瘍内科学部門
- O2-3 腫瘍内高乳酸環境は B 細胞のヒストン H3 アセチル化を亢進し制御性 B 細胞を誘導する75
村岡 聡^{1,2)}、馬場 崇¹⁾、岩淵 禎弘³⁾、橋本 真一³⁾、原 勲²⁾、井上 徳光¹⁾
¹⁾和歌山県立医科大学 医学部 分子遺伝学講座
²⁾和歌山県立医科大学 医学部 泌尿器科学講座
³⁾和歌山県立医科大学 医学部 分子病態解析研究部
- O2-4 可溶性 NKG2DL は T 細胞における NKG2D/NKG2DL シグナルを阻害する75
豊田 仁志^{1,2,3,4)}、倉増 敦朗¹⁾、細沼 雅弘^{1,2,3,5)}、村山 正和^{1,2,3,6)}、成川 陽一郎^{1,2,3,6)}、磯部 順哉⁷⁾、馬場 勇太^{1,2,3,8)}、
田島 康平^{1,3,9)}、船山 英治^{1,3)}、堀池 篤⁵⁾、和田 聡^{1,5)}、角田 卓也⁵⁾、吉村 清^{1,5)}
¹⁾昭和大学 臨床薬理研究所 臨床免疫腫瘍学部門
²⁾昭和大学 医学部 薬理学講座医科薬理学部門
³⁾昭和大学 薬理科学研究センター
⁴⁾昭和大学 医学部 整形外科科学講座
⁵⁾昭和大学 医学部 内科学講座腫瘍内科学部門
⁶⁾昭和大学 医学部 耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座
⁷⁾昭和大学 薬学部 病院薬剤部
⁸⁾昭和大学 医学部 内科学講座血液内科学部門
⁹⁾東海大学 医学部 外科学系消化器外科
- O2-5 がんの放射線治療後に起こる免疫反応を利用する改良型・樹状細胞ワクチン療法の開発76
武島 嗣英¹⁾、王 洋²⁾、中島 菜花子¹⁾、下川 卓志¹⁾、長谷川 純崇¹⁾
¹⁾量子科学技術研究開発機構 重粒子線治療研究部 放射線がん生物学研究グループ
²⁾量子科学技術研究開発機構 QST病院 治療診断部
- O2-6 イノシンは T 細胞疲弊および制御性 T 細胞の抑制を介して抗腫瘍効果を発揮する76
船山 英治^{1,8)}、成川 陽一郎^{1,2,3,5)}、倉増 敦朗¹⁾、細沼 雅弘^{1,2,3,4)}、村山 正和^{1,2,3,5)}、豊田 仁志^{1,2,3,6)}、磯部 順哉⁷⁾、
馬場 勇太¹⁾、田島 康平¹⁾、堀池 篤⁴⁾、和田 聡³⁾、角田 卓也⁴⁾、吉村 清^{1,4)}
¹⁾昭和大学 臨床薬理研究所 臨床免疫腫瘍学部門
²⁾昭和大学 医学部 薬理学講座 医科薬理学部門
³⁾昭和大学 薬理科学研究センター
⁴⁾昭和大学 医学部 内科学講座 腫瘍内科学部門
⁵⁾昭和大学 医学部 耳鼻咽喉科 頭頸部外科学講座
⁶⁾昭和大学 医学部 整形外科科学講座
⁷⁾昭和大学 薬学部 病院薬剤部
⁸⁾昭和大学 薬学部 基礎医療薬学講座 薬理学部門

10:28~11:00 一般演題 3 「ICI の使用経験 (1)」

座長：早野 康一 (千葉大学 医学部 先端応用外科)

- O3-1 ニボルマブ投与中に続発性副腎クリーゼをきたした大腸癌患者の 1 例.....77
久野 真史、深田 真宏、安福 至、浅井 竜一、佐藤 悠太、田島 ジェシー雄、木山 茂、奥村 直樹、二村 学、
高橋 孝夫、松橋 延壽
岐阜大学医学部附属病院 消化器外科
- O3-2 S 状結腸癌術後再発に対し、既存の化学療法に抵抗性を生じるも、pembrolizumab が適応となり長期生存を
得た 1 例77
氏家 大輔、藤田 正太郎、小野澤 寿志、岡山 洋和、佐久間 芽衣、坂本 渉、門馬 智之、佐瀬 善一郎、河野 浩二
福島県立医科大学 消化管外科学講座

- O3-3 肺腺癌 Stage4B に対して CBDCA/PEM/Pembrolizumab 投与にて、併発していた横行結腸癌に完全奏効を得られた 1 例78
 景山 千幸、吉松 和彦、上野 富雄、藤原 由規、遠藤 俊治、岡田 敏正、伊藤 嘉智、東田 正陽、窪田 寿子、田中 宏典
 川崎医科大学 消化器外科学
- O3-4 盲腸癌の傍大動脈リンパ節転移再発に対して Nivolumab+Ipilimumab 療法が奏功した 1 例78
 藤井 敏之¹⁾、碓 彰一¹⁾、織方 良介¹⁾、吉田 一也¹⁾、中元 賢武¹⁾、橋谷 博¹⁾、池田 昭彦¹⁾、梶山 實香¹⁾、山下 仰²⁾、井上 幹茂²⁾、日野 啓輔²⁾、沖田 極²⁾
¹⁾周南記念病院 外科
²⁾周南記念病院 消化器内科

11:05~11:50 ワークショップ 2 「ir-AE に対する対応」

座長：濱田 和幸（昭和大学病院 腫瘍内科）
 山口 佳之（川崎医科大学 臨床腫瘍学）

- WS2-1 Nivolumab+Ipilimumab 療法中に同時多発的に多臓器 irAE（irAE マーチ）を来した自験例と文献的考察64
 鈴木 梨沙子、堀池 篤、鶴井 敏光、入口 菜々、石黒 智之、平澤 優弥、有泉 裕嗣、濱田 和幸、吉村 清、和田 聡、角田 卓也
 昭和大学 医学部 内科学講座 腫瘍内科学部門
- WS2-2 当科において経験した免疫チェックポイント阻害薬に伴う皮膚 irAE 110 例の臨床的検討64
 入江 絹子、山本 俊幸
 福島県立医科大学 医学部 皮膚科学講座
- WS2-3 当院における免疫支援チームの取り組み65
 北野 滋久
 がん研究会 有明病院 先端医療開発科/がん免疫治療開発部

12:00~12:45 ランチョンセミナー 2

座長：藤原 俊義（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器外科学）

- LS2 腫瘍内血管のバイオイメージングによる VEGFR2 シグナル阻害の治療効果の可視化108
 高倉 伸幸
 大阪大学 微生物病研究所 情報伝達分野

共催：日本イーライリリー株式会社

12:50~13:38 一般演題 4 「免疫療法のための基礎研究（2）」

座長：三村 耕作（福島県立医科大学 消化管外科学講座）
 清谷 一馬（公益財団法人がん研究会 がんプレジジョン医療研究センター）

- O4-1 悪性リンパ腫における短鎖脂肪酸による T 細胞の抗腫瘍効果の増強79
 馬場 勇太^{1,2)}、細沼 雅弘^{1,3,4)}、倉増 敦朗¹⁾、村山 正和^{1,3)}、成川 陽一郎^{1,3)}、豊田 仁志^{1,3)}、田島 康平¹⁾、船山 英治¹⁾、志田 みどり¹⁾、磯部 順哉¹⁾、角田 卓也⁴⁾、木内 祐二³⁾、吉村 清^{1,4)}
¹⁾昭和大学 臨床薬理研究所 臨床免疫腫瘍学部門
²⁾昭和大学藤が丘病院 血液内科
³⁾昭和大学 医学部 薬理学講座 医科薬理学部門
⁴⁾昭和大学 医学部 内科学講座 腫瘍内科学部門

- O4-2 腫瘍融解アデノウイルス製剤の免疫賦活薬としての有用性とICI との併用治療の可能性.....79
門脇 大輔¹⁾、黒田 新士¹⁾、橋本 将志¹⁾、垣内 慶彦¹⁾、菊地 覚次¹⁾、野間 和広¹⁾、田澤 大^{1,2)}、香川 俊輔¹⁾、
浦田 泰生³⁾、藤原 俊義¹⁾
¹⁾岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器外科学
²⁾岡山大学病院 新医療研究開発センター
³⁾オンコリスバイオファーマ
- O4-3 免疫チェックポイント阻害薬の治療効果に対する食物摂取頻度調査による食物繊維量を含む栄養成分毎の影響
評価.....80
有泉 裕嗣¹⁾、小川 知里²⁾、金木 美佳²⁾、日高 由季菜²⁾、鶴井 敏光¹⁾、鈴木 梨沙子¹⁾、入口 菜々¹⁾、石黒 智之¹⁾、
平澤 優弥¹⁾、大熊 遼太郎¹⁾、久保田 祐太郎¹⁾、濱田 和幸¹⁾、堀池 篤¹⁾、和田 聡^{1,3)}、吉村 清^{1,4)}、島居 美幸²⁾、
角田 卓也¹⁾
¹⁾昭和大学 医学部 内科学講座 腫瘍内科学部門
²⁾昭和大学病院 栄養科
³⁾昭和大学 臨床薬理研究所 臨床腫瘍診断学部門
⁴⁾昭和大学 臨床薬理研究所 臨床免疫腫瘍学部門
- O4-4 ネオアンチゲンワクチン療法における特異的免疫反応増幅への樹状細胞由来エクソソームの関与.....80
森崎 晋史^{1,2)}、森崎 隆²⁾、岩本 直也¹⁾、坂梨 深太¹⁾、中房 智樹¹⁾、長尾 晋次郎¹⁾、那 琳¹⁾、益田 昌吾¹⁾、
大西 秀哉¹⁾
¹⁾九州大学大学院医学研究院 先端医療医学部門 腫瘍制御学分野
²⁾福岡がん総合クリニック
- O4-5 固形がん患者における抗 PD-1 抗体の治療有効例と免疫学的有害事象発症例に多い腸内細菌の同定81
濱田 和幸¹⁾、磯部 順哉^{2,3)}、平澤 優弥¹⁾、倉増 敦朗³⁾、細沼 雅弘^{1,3)}、馬場 勇太³⁾、鈴木 梨沙子¹⁾、鶴井 敏光¹⁾、
入口 菜々¹⁾、石黒 智之¹⁾、大熊 遼太郎¹⁾、有泉 裕嗣¹⁾、久保田 祐太郎¹⁾、堀池 篤¹⁾、和田 聡^{1,4)}、吉村 清^{1,3)}、
角田 卓也¹⁾
¹⁾昭和大学 医学部 内科学講座 腫瘍内科学部門
²⁾昭和大学 病院薬剤学講座
³⁾昭和大学 臨床薬理研究所 臨床免疫腫瘍学
⁴⁾昭和大学 臨床薬理研究所 臨床腫瘍診断学
- O4-6 腸内細菌代謝産物短鎖脂肪酸 A は T 細胞の活性化および M1 マクロファージの誘導を介して抗 PD-1 抗体療法
の抗腫瘍効果を増強する.....81
細沼 雅弘^{1,2,3)}、村山 正和^{1,2,4)}、倉増 敦朗¹⁾、成川 陽一郎^{1,2,4)}、豊田 仁志^{1,2,5)}、磯部 順哉^{1,6)}、馬場 勇太^{1,7)}、
田島 康平^{1,8)}、船山 英治^{1,2)}、堀池 篤³⁾、和田 聡³⁾、角田 卓也³⁾、吉村 清^{1,3)}
¹⁾昭和大学 臨床薬理研究所 臨床免疫腫瘍学部門
²⁾昭和大学 薬理科学研究センター
³⁾昭和大学 医学部 内科学講座 腫瘍内科学部門
⁴⁾昭和大学 医学部 耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座
⁵⁾昭和大学 医学部 整形外科講座
⁶⁾昭和大学 薬学部 病院薬剤部
⁷⁾昭和大学 医学部 内科学講座 血液内科学部門
⁸⁾東海大学 医学部 外科学系 消化器外科

14:50~15:30 一般演題 5 「化学療法・集学的治療」

座長： 裕 彰一 (周南記念病院 外科)
三宅 亨 (滋賀医科大学 外科学講座)

- O5-1 複合免疫療法と手術による集学的治療が奏功した StageIV 胃癌の 1 例82
鈴木 博也、金田 晃尚、松石 彬、佐久間 芽衣、楡井 東、菊池 智宏、多田 武志、花山 寛之、佐瀬 善一郎、
三村 耕作、河野 浩二
福島県立医科大学附属病院 消化管外科学講座
- O5-2 骨肉腫に対するゲムシタピンとラパマイシン併用療法—アポトーシス誘導とその増強効果—82
安藤 隆^{1,2)}
¹⁾甲州リハビリテーション病院 整形外科
²⁾山梨大学医学部附属病院 整形外科
- O5-3 放射線治療と免疫チェックポイント阻害薬の併用における安全性及び効果.....83
伊藤 佑輔、梅宮 和真、竹原 由佳、佐藤 久志、吉本 由哉、田巻 倫明、鈴木 義行
福島県立医科大学 医学部 放射線腫瘍学講座

- O5-4 当院における肛門管扁平上皮癌に対する化学放射線療法の治療成績について83
横井 亮磨、高橋 孝夫、田島 ジェシー雄、木山 茂、田中 善宏、奥村 直樹、村瀬 勝俊、松橋 延壽
岐阜大学医学部附属病院 消化器外科
- O5-5 再発大腸癌に対する late line での示唆に富むレゴラフェニブ使用経験.....84
東倉 賢治郎、坂本 渉、圓谷 秀哲、氏家 大輔、小野澤 寿志、岡山 洋和、藤田 正太郎、齋藤 元伸、
佐瀬 善一郎、門馬 智之、河野 浩二
福島県立医科大学 医学部 消化管外科

15:35～16:15 一般演題6「ICIの使用経験(2)」

座長：原 勲 (和歌山県立医科大学 泌尿器科)
濱田 和幸 (昭和大学病院 腫瘍内科)

- O6-1 食道癌の術後補助療法または切除不能進行食道癌に対する1次治療としての免疫チェックポイント阻害薬の使用経験.....85
下之菌 将貴、佐々木 健、鶴田 祐介、有上 貴明、松下 大輔、大塚 隆生
鹿児島大学 消化器・乳腺甲状腺外科
- O6-2 切除不能進行・再発食道癌に対する Pembrolizumab+CDDP/5-FU 療法の12例の検討85
佐久間 芽衣、叶多 諒、圓谷 秀哲、金田 晃尚、菊池 智宏、楡井 東、多田 武志、花山 寛之、佐瀬 善一郎、
門馬 智之、河野 浩二
福島県立医科大学 医学部 消化管外科学講座
- O6-3 100症例以上の進行・再発食道癌に対する免疫チェックポイント阻害薬を中心とした薬物療法の治療成績と解析.....86
平澤 優弥¹⁾、吉村 清^{1,2,4)}、鶴井 敏光¹⁾、鈴木 梨沙子¹⁾、入口 菜々¹⁾、石黒 智之¹⁾、有泉 裕嗣¹⁾、濱田 和幸¹⁾、
堀池 篤¹⁾、和田 聡^{1,3,4)}、角田 卓也¹⁾
¹⁾昭和大学 医学部 内科学講座 腫瘍内科学部門
²⁾昭和大学 臨床薬理研究所 臨床免疫腫瘍学部門
³⁾昭和大学臨床薬理研究所臨床腫瘍診断学部門
⁴⁾昭和大学臨床薬理研究所
- O6-4 当科における転移性腎細胞癌に対する IO-TKI レジメンの初期使用成績86
山下 真平、村岡 聡、若宮 崇人、吉川 和朗、柑本 康夫、原 勲
和歌山県立医科大学 泌尿器科
- O6-5 nivolumab・ipilimumab 併用療法後、切除可能となった cT3b 腎癌・下大静脈腫瘍栓の3例87
大島 記世、西山 直隆、五十嵐 愛理、鈴木 涼太、菊島 卓也、安川 瞳、池端 良紀、伊藤 崇敏、渡部 明彦、
北村 寛
富山大学 学術研究部 医学系 腎泌尿器科学講座

16:20～16:52 一般演題7「ICIの使用経験(3)」

座長：前田 清 (大阪公立大学大学院 医学研究科 消化器外科)

- O7-1 当院における免疫チェックポイント阻害薬に起因する irAE 肝障害の対策と重症例について88
阿部 和道、藤田 将史、林 学、高橋 敦史、大平 弘正
福島県立医科大学消化器内科学講座
- O7-2 治療切除不能な進行・再発胃癌に対する1次治療としての Nivolumab+SOX 療法5例の使用経験.....88
松石 彬、菊池 智宏、鈴木 博也、丸山 裕也、佐久間 芽衣、圓谷 秀哲、深井 智司、金田 晃尚、氏家 大輔、
千田 峻、楡井 東、多田 武志、花山 寛之、小野澤 寿志、岡山 洋和、坂本 渉、佐瀬 善一郎、門馬 智之、
河野 浩二
福島県立医科大学 消化管外科学講座
- O7-3 当院の切除不能進行・再発胃癌に対する1次治療における Nivolumab の使用経験89
土屋 博、奥村 直樹、神品 壮史、深田 真宏、佐藤 悠太、安福 至、田島 ジェシー雄、木山 茂、田中 善宏、
村瀬 勝俊、高橋 孝夫、松橋 延壽
岐阜大学医学部附属病院 消化器外科/小児外科

- 07-4 ニボルマブによる三次化学療法およびトラスツズマブ・デルクステカンによる四次化学療法が奏効した HER2 陽性進行胃癌の 1 例.....89
橋本 陽^{1,2)}、引地 拓人¹⁾、中村 純^{1,2)}、加藤 恒孝^{1,2)}、小橋 亮一郎^{1,2)}、柳田 拓実²⁾、鈴木 玲²⁾、佐藤 雄紀²⁾、
入江 大樹²⁾、高木 忠之²⁾、大平 弘正²⁾
¹⁾福島県立医科大学附属病院 内視鏡診療部
²⁾福島県立医科大学 医学部 消化器内科学講座

16:55~17:55 ワークショップ 3 「腸内細菌とがん免疫」

座長：谷 眞至（滋賀医科大学 外科学講座）
江口 英利（大阪大学大学院 医学系研究科 消化器外科学）

- WS3-1 大腸癌における腫瘍浸潤リンパ球と腸内細菌叢について.....66
三宅 亨、前川 毅、森 治樹、全 有美、谷 総一郎、小島 正継、谷 眞至
滋賀医科大学 外科学講座 消化器・乳腺・小児・一般外科
- WS3-2 マウス歯周病モデルによる腸内細菌叢を介した移植免疫への影響の解明
(短鎖脂肪酸濃度変化の観点から)66
目井 孝典¹⁾、大西 秀哉²⁾、佐藤 優¹⁾、坂梨 深太²⁾、岩本 直也²⁾、長尾 晋次郎²⁾、益田 昌吾²⁾、中村 雅史¹⁾
¹⁾九州大学大学院 臨床腫瘍外科
²⁾九州大学大学院医学研究院 先端医療医学部門 腫瘍制御学分野
- WS3-3 ラットを用いた歯周炎と腸内細菌叢の移植免疫に対する影響の研究 (Treg 多寡の観点から)67
佐藤 優¹⁾、大西 秀哉²⁾、目井 孝典¹⁾、坂梨 深太²⁾、岩本 直也²⁾、森崎 晋史²⁾、那 琳²⁾、益田 昌吾²⁾、
長尾 晋次郎²⁾、中村 雅史¹⁾
¹⁾九州大学大学院 医学研究院 臨床・腫瘍外科
²⁾九州大学大学院 医学研究院 腫瘍制御学
- WS3-4 口腔扁平上皮癌における細菌叢と腫瘍内免疫プロファイル67
加島 佳奈^{1,2)}、西塔 拓郎¹⁾、春名 美弥¹⁾、鶴澤 成一²⁾、和田 尚¹⁾
¹⁾大阪大学大学院 医学系研究科 臨床腫瘍免疫学講座
²⁾大阪大学大学院 歯学研究科 口腔外科学第二教室